

タウンミーティング 市政報告とまちづくり懇談会を開催しました

問合せ 広報広聴課 (☎ 76 - 1101)

5月から7月にかけて、タウンミーティング「市政報告とまちづくり懇談会」を開催しました。

開催日

- 5/25 北里市民センター
- 5/29 東部市民センター
- 6/ 3 市民会館
- 6/ 8 味岡市民センター
- 7/21 市民会館



市政報告

当日は、テーマごとの概要説明と市政運営について報告しました。

テーマ

- ① 新型コロナウイルス感染症
- ② SDGs 未来都市(子育て・転入促進)
- ③ 史跡小牧山
- ④ 健康・支え合い、高齢者福祉
- ⑤ 産業振興
- ⑥ 行政改革、市民サービスの向上
- ⑦ 地区別の主な事業



延べ750人を超える皆さんにご参加いただき、ありがとうございました。

当日の内容などは、市ホームページでご確認いただけます。



参加できなかった方もぜひ、ご覧ください!



質疑応答

(一部抜粋)

Q 孫が今年1年生で入学しました。生まれてから、和式トイレを使っていたことがなく、学校には、洋式トイレが少なくこまっています。早急に洋式トイレへ移行していただきたい。

A トイレの洋式につきましては今、順次進めているところであります。令和9年までにすべての小中学校のトイレ改修が完了となる予定です。国から予算もいただきながら、毎年数校ずつトイレの洋式化の工事を進めております。(5/29 東部市民センター)

Q 国の行ってきた政策ではほとんど功をなさず、少子化がどんどん進んでいます。市が行える事は限られますが、効果のある、具体性のある少子化対策をお持ちでいらっしゃいますか。

A 少子化対策ということですが、本当に危機的な状況だと思っています。国の議論の中では、価値観の問題だとか、若者の考え方の問題がよく取り沙汰されますが、私は経済問題だと思っています。もちろん色々な価値観の変容や、社会の環境の変化など複合的な要因がありますが、わが国は子育てだとか教育費に占める公的支出の割合が非常に低いです。子どもにかかる費用を社会全体で負担するのが公平だと、私はずっと思っています。ですから、子どもが1人だろうが2人だろうが10人以上だろうが、子どもがいることで、新たな負担を家庭に生じさせないということを大きな柱にすると国が宣言する必要があります。(7/21 市民会館)



問合せ先 ごみ政策課 (☎ 76 - 1147)



スプレー缶やバッテリー使用機器などの発火性危険物を危険ごみ以外で出すことは非常に危険です！
必ず透明袋に入れて出してください！

間違ったごみ出しが原因で火災事故が多発しています

現 在、スプレー缶や小型充電式電池（リチウムイオンバッテリー）、バッテリー使用機器の間違った排出が原因で、処理施設やごみ収集車（パッカー車）の火災事故が多発しています。

こ れらの発火性危険物は、圧力が加わることで、発火や発熱する可能性があります。ごみ収集車では圧迫、処理施設では破砕をする際に、**これらが混入していると大きな事故**につながります。

危険ごみの出し方についての詳細は市ホームページをチェック▶



これだけは守ってね！

スプレー缶・電池類(リチウムイオン電池など)は赤袋・緑袋・白袋に絶対に入れない!

DANGER! NG (資源用(緑色) 破砕ごみ用(赤色))

SAFETY! OK (中身が見える透明な袋)

スプレー缶は ●穴をあけない!! ●中身を使い切る!!

守ってね!



さまざまな製品に小型充電式電池が(リチウムイオンバッテリー)使われています。

例えば・・・

- デジタルカメラ
- 電話(子機)
- 電動シェーバー
- 電子タバコ
- モバイルバッテリー
- など

バッテリーが取り外せないものは**危険ごみ**

危険ごみは透明袋に!



POINT!! 指定の袋はありません。中身に何が入っているか分かる透明な袋を使用してください。